

体の動きを高める運動領域部会 実証授業② 学習指導案

1 研究主題を受けた部会の考え方

子供の思いや願いを喚起し、子供自身がやってみて感じた問いをもとに学習課題を設定していくことで、子供一人一人が学習課題を見だし、体の動きを高めていく学習を実現することができる考えた。

2 体の動きを高める運動領域における学習課題の捉え方

体の動きを高めることの目的に関する学習課題

「なぜ体の動きを高めるのか。」「何のために体の動きを高めるのか。」自分なりの目的意識を見だし設定する学習課題。

体の動きの高め方に関する学習課題

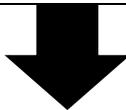
「体の動きを高めるためにはどのように運動に取り組んだらよいのか。」自分なりの高め方を考えて設定する学習課題。

自己の取組を修正、活用する学習課題

「さらに高めるにはどうしたらよいのか。」「他の運動にも活用できるのか。」自己の取組を修正したり、発見した高め方を活用したりして、体の動きをさらに高めるために設定する学習課題。

3 実証授業①及び夏季合同研究会より

成 果	○第1時のねらい（やってみる→問いをもつ）を達成することができた。 ○プロモーションムービーによって、運動への意欲を高めることができた。
課 題	○自分もった問いをもとにして、8割の子供が学習課題を見いだすことができた。 ●子供の振り返りをどのように次時につなげていくのかを明らかにする。 ●個別の学びの成果や課題について、何をいつ共有するのかを明らかにする。 ●ロードマップの具体的な活用方法について示す。 ●子供が意欲的に取り組み、体の動きが高まる運動例を示す。



4 実証授業②で明らかにしたいこと

【子供の振り返りをどのように次時につなげていくのかを明らかにする】

- ・一人一人の子供の学習状況に応じた教師の働きかけ。

【個別の学びの成果や課題について、何をいつ共有するのかを明らかにする】

- ・第6学年の学習過程の在り方。

【ロードマップの具体的な活用方法について示す】

- ・学習過程と連動したロードマップの作成。

【子供が意欲的に取り組み、体の動きが高まる運動例を示す】

- ・子供が主体的に取り組むことができ、体の動きが高まっていく新たな運動例の設定。
- ・子供が自ら学習課題を解決するための運動アプリの作成。

5 学習指導案

(1) 実証授業実施校等

江東区立豊洲西小学校

第6学年4組 児童：36名 指導者：主任教諭 畠中 圭太

(2) 単元名

体づくり運動 体の動きを高める運動

(3) 単元の目標

知識及び技能	ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	運動に積極的に取り組み、約束を守り助け合って運動したり、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。

(4) 単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ①体の動きを高める運動の行い方について、言ったり書いたりしている。 ②体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることができる。 ③人やものの動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることができる。 ④自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることができる。 ⑤一つの運動又は複数の運動を組み合わせると一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることができる。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ①動きのポイントと自己や仲間の動きを比較し、自己や仲間の課題を見付けている。 ②自己の体力に応じて取り組む動きを選んだり、動きに工夫を加えたりしている。 ③観察し合って見付けたこつやわかったこと、解決の仕方や改善方法について伝えている。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ①体の動きを高める運動に積極的に取り組もうとしている。 ②互いの動きを観察し合ったり、教え合ったりするなど、仲間と助け合おうとしている。 ③学習に必要な物や用具の準備などで、役割を果たそうとしている。 ④わかったことを伝え合ったり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めようとしている。 ⑤安全に気を配るとともに、感染症の予防のために、距離を確保したり、運動前後に手洗いをしたりしている。

(5) 児童の実態

「体の動きを高める運動の楽しさは何だと思えますか？」という質問に対して、「いろいろな運動に生かせること、うまくなったことがわかる、達成感、できないことができるようになり嬉しい、友達と一緒に高め合える。」など肯定的な回答が9割であった。

「何のために体の動きを高めますか？」という質問に対して、2割が「分からない」、「5年生の体の動きを高める運動では、どのようなことを学習しましたか？」3割が「よく覚えていない」と回答し、また、6割が「長なわ、短なわ」を経験した運動で回答している。

子供が主体的に取り組むことができ、体の動きが高まっていく新たな運動例をきっかけに、一人一人の学習状況に応じて働きかけ、目的をもって運動に取り組めるように指導していく。

(6) 研究主題に迫るための工夫

① 一人一人の子供が学習課題を見いだす手立ての工夫 (都小体研の研究の視点)

ア 運動との出会い

体の動きを高める運動のプロモーションムービーを観て、第5学年時に学習したことを想起するとともに、新たな運動に取り組みたいという意欲を高める。子供が実際に運動に取り組んで感じたことや考えた問いをもとに、学習課題を見いだすことができるようにする。

イ 問いの分類

「体の動きを高める」という目標に向かって生まれる子供たちの問いを、学習課題と対応させた表に整理した。教師は広げたい問い、深めたい問いを想定しておくことで、問いを引き出すためのファシリテーションをすることができるようになり、子供が学習課題を見いだすことができるようになると考えた。

	体の動きを高めることの目的に関する学習課題	体の動きの高め方に関する学習課題	自己の取組を修正、活用する学習課題
簡単な問い	何をすればいいのかな	次は、何をしようかな	どうしてできたのかな
広げる問い	何ができるかな	(高めるために) どうすればいいのかな	(もっと高めるために) どんな工夫をしようかな
深める問い	何の体力を高めようかな	自分の体の動きは 高まっているのかな	次からは、どうやって 高めていこうかな

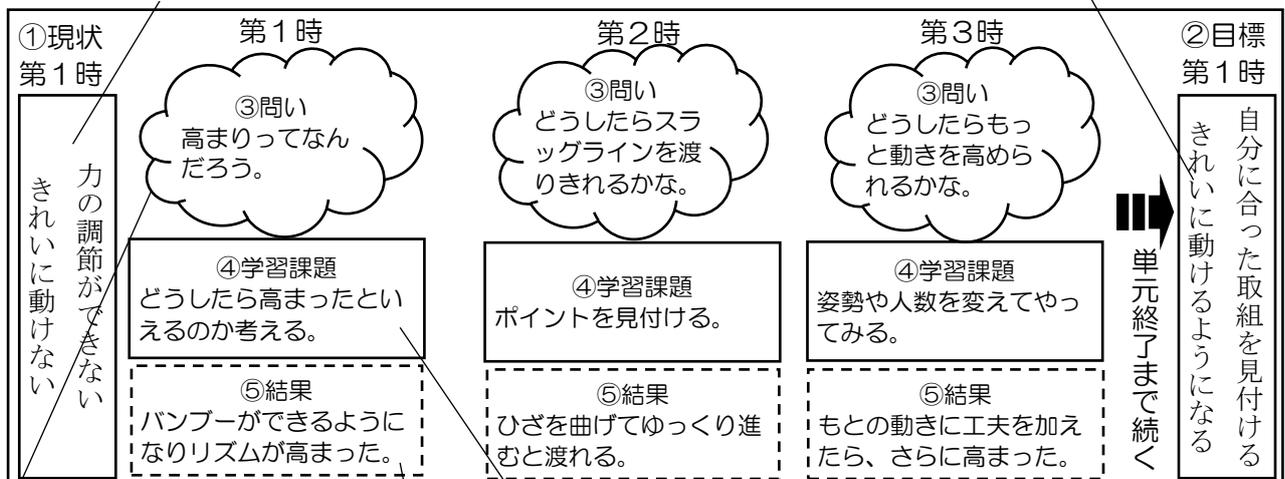
ウ 学びのロードマップ

自身の問いから学習課題を見だし、子供たち一人一人が主体的に学習に取り組めるように、学びのロードマップを作成する。学習前の現状と学習後の目標を設定し、目標を達成するための問いと学習課題を学びのロードマップを用いて学級全体で共有することで、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に行っていく。教師は共有したい問いや学習課題をあらかじめ想定しておき、子供の学習状況に応じて意図的に取り上げるようにする。

①運動に取り組んでみて感じた自分の状態や運動に対する気持ちを共有する。

②運動後の自分(自分たち)がどのようになっていたのか目標を共有する。

学びのロードマップ例



③「どうしてかな。」「どうしたらいいのかな。」と思ったこと。 ④「こうしてみよう。」「こうしたい。」と考えたこと。

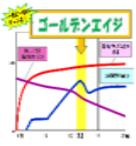
⑤「こうだった。」「こうなった。」と振り返ったこと。

② 各領域部会における学習指導の工夫 (上記①以外の各領域部会の工夫)

ア 教師の働きかけ

昨年度までの研究により、子供が考えること、教師が指導すること、教師が支援することの3つの視点で整理することにより、教師の働きかけを明確にすることができた。一人一人の子供の学習状況によって教師の働きかけも一律ではない。そこで、より適切な働きかけを実践することができるよう、子供がもつ問いに応じた教師の働きかけを整理した。

子どもの問い	教師の働きかけ
 <p>何をすればいいのかな?</p>	<p>7プロモーションムービーから動きを選んでみよう</p>  <p>【プロモーションムービーの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロモーションムービーを使って見通しを支援する。 ・子供の「やってみたい」「楽しそう」というおもしろさを大切にする。 
 <p>次は何をしようかな?</p>	<p>運動アプリから、まだやっていない運動を選んでみよう</p>  <p>【運動アプリの活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動アプリを使って運動例を紹介する。 ・単元前半に多くの運動を経験できるようにする。 
 <p>どうしてできたのかな?</p>	<p>動画で自分の動きを見て、こつを見つけてみよう</p>  <p>【自己の取り組みを撮影、視聴】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部位に着目し、ポイントを発見できるようにする。 ・自分の動きを動画で確認し、子供自身で変容に気づけるようにする。 
 <p>何ができるかな?</p>	<p>(資料を提示し)何が高まりそうかな?</p>  <p>【学習資料の提示 (動きの4要素)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体の動きの4要素を提示し、「体の動きを高める」から、「巧みな動きを高める」のように目的をより明確化できるようにする。 
 <p>(高めるために) どうすればいいのかな?</p>	<p>学習カードや掲示物を活用してみよう</p>  <p>【学習カード、掲示物を活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もとの動きを示し、運動のポイントや工夫した動きを掲示物で、学級全体で共有する。 
 <p>(もっと高めるために) どんな工夫をしようかな?</p>	<p>(資料を提示し)姿勢や用具を変えてみたらどうかな</p>  <p>【学習カード、掲示物を活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前に取り組んだ運動の工夫を、その後に取り組む運動と関連づける。 ・工夫の視点を示して、体の動きを高めるために動きを工夫することを意識付けできるようにする。 

子どもの問い	教師の働きかけ
 <p>何の体力を高めようかな？</p>	<p>(資料を提示し)今は、「巧みな動き」「体の柔らかさ」が高まりやすいよ。</p>  <p>【学習資料の提示（ゴールデンエイジ）】 ・友達に目的を伝えて意識して運動に取り組めるようにする。 ・スキヤモンの発達曲線を使って、巧みな動き、柔らかさが高まりやすい時期であることを伝える。</p> 
 <p>自分の体の動きは高まっているのかな？</p>	<p>今までの自分の動きや友達の動きと比べてみよう。</p>  <p>【学習資料の提示（高まりの実感）】 ・学習資料などから高まりの実感の視点を確認するとともに、これまでの自分の動きや友達の動きと今の自分の動きを比べながら高まりを感じられるように働きかける。</p> 
 <p>次からは、どうやって高めていこうかな？</p>	<p>次はどうしたらいいのかわ、選んでみよう</p>  <p>【ロードマップを活用】 ・学びの足跡を確かめながら、「もっとできるようになりたい動き」「あと少しできそうな動き」を選びながら体の動きを高められるようにする。</p> 

イ 新たな運動例の設定

これまで本部会で扱ってきた運動の中には、工夫が広がり過ぎてしまい、子供も指導者も工夫の善し悪しの判断が難しいものや自分が高めたい動きを意識しにくいものがあつた。子供が学習課題を見だし、学習課題の解決に向けた取り組みを充実させるために、新たな運動の設定の視点を下のように整理した。

これまでの運動開発の視点	新たな運動開発の視点
<ul style="list-style-type: none"> ・工夫の広がりがある ・高まりの実感がしやすい 	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫の善し悪しが分かりやすい ・高まる動きが明確である ・運動の楽しさを味わうことができる ・高まりの実感がしやすい



ボールを投げ上げて、ミニフープの中を移動しながらキャッチする運動。主に力の入れ加減が高まる。



ミニフープの中にボールをつきながら、移動する運動。主に力の入れ加減が高まる。



コーンタッチ、バーのくぐり抜け、跳び箱の跳び渡りを組み合わせた運動。主にリズムカルな動きが高まる。



支柱の間に平らなロープを張り、一定の距離を渡る運動。主にバランスが高まる。



跳び箱を押し合う運動。主に力強い動きが高まる。



肋木につないだロープを手繰り寄せる運動。主に力強い動きが高まる。

ウ 運動アプリの作成

教師に与えられた運動に取り組むのではなく、自分が取り組みたい運動を選択することができるよう、単元を通じて取り上げる運動の基の動きや行い方を確認することができる運動アプリを作成した。紙ベースの資料よりも、動きのイメージがしやすく、ポイントを発見する際の資料にもなるため、より意欲的に運動に取り組む、自身の体の動きを高めることができるようになると思った。



①体力の4要素の中から、各要素を選択する。



②自分が観たい運動を選択する。



③基の動きの動画が流れる。

③ 学習過程の工夫

ア 子供が学習課題を解決していく学習過程の工夫

子供たちが自ら学習課題を見だし、学んだことを活用・修正することができるように、3時間分の簡単な見通しを立てて取り組む学習過程を作成した。単元の始めでは、プロモーションムービーを活用し、第5学年で学習したことを想起しながら、体の動きを高める運動の学び方を確認する。学習課題を見いだす段階では、運動に取り組む目的、ポイント発見、動きの工夫を促し、高まりの実感につなげていく。第5～7時、第8～10時の簡単な見通しを立てることで自己の学びを修正・活用しながら目的をもって運動に取り組めるように働きかけていく。

イ 学習過程< 第6学年 体づくり運動 「体の動きを高める運動」 >

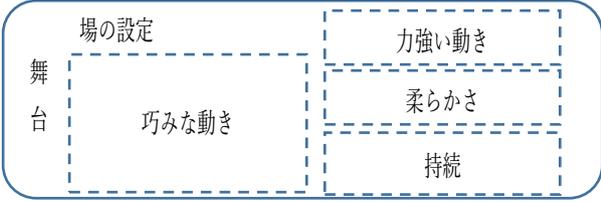
時間	単元に入る前に	1	2・3・4	5・6（本時）・7	8・9・10					
段階	これまでの学習を振り返る	見通しをもつ	学習課題を見いだす			自己の学びを修正・活用する				
学習活動・内容	1 体の動きを高める運動のプロモーションムービーを観る	1 体の動きを高める運動のプロモーションムービーを観る	1 ロードマップで前時の学びを共有する 2 学習課題を確認する 3 準備運動							
	2 これまでの経験を振り返る	2 アンケートの結果を共有する	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:50%; text-align: center;">ロードマップの共有事項 問いと学習課題、目的、ポイント発見、かかわり、工夫</td> <td style="width:50%; text-align: center;">ロードマップの共有事項 修正、活用、見通しの立て方</td> </tr> </table>				ロードマップの共有事項 問いと学習課題、目的、ポイント発見、かかわり、工夫	ロードマップの共有事項 修正、活用、見通しの立て方		
	ロードマップの共有事項 問いと学習課題、目的、ポイント発見、かかわり、工夫	ロードマップの共有事項 修正、活用、見通しの立て方								
	3 運動アプリを使って、第1時で行う運動を選ぶ	3 準備運動	4 体の動きを高める運動に取り組む【1時間ごとの動きを選択】							
4 オンラインを活用したアンケートに取り組む ※帰りの時間等を活用する。	4 体の動きを高める運動に取り組む 5 整理運動 6 ロードマップを作成する 7 振り返り	4 体の動きを高める運動に取り組む【3時間分の動きを選択】								
			<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">運動要素（巧み・柔らかさ・力・持続）、動きの数（1～3個が目安）、取り組む動き、時間配分等を自分で決めて運動に取り組む。 巧み（6種）…「ボールキャッチ」「ボールポリブル」「リズムカルコース走」「スラックライン」「バンブーステップ」「長なわ」 柔らかさ（4種）…「ボール転がし」「ゴムひもくぐり」「輪くぐり」「ウォーキングストレッチ」 力（3種）…「プッシュアップ」「自分運び」「とび箱ずもう」 持続（2種）…「エアロビクス」「ペース走」</td> </tr> </table>				運動要素（巧み・柔らかさ・力・持続）、動きの数（1～3個が目安）、取り組む動き、時間配分等を自分で決めて運動に取り組む。 巧み（6種）…「ボールキャッチ」「ボールポリブル」「リズムカルコース走」「スラックライン」「バンブーステップ」「長なわ」 柔らかさ（4種）…「ボール転がし」「ゴムひもくぐり」「輪くぐり」「ウォーキングストレッチ」 力（3種）…「プッシュアップ」「自分運び」「とび箱ずもう」 持続（2種）…「エアロビクス」「ペース走」			
運動要素（巧み・柔らかさ・力・持続）、動きの数（1～3個が目安）、取り組む動き、時間配分等を自分で決めて運動に取り組む。 巧み（6種）…「ボールキャッチ」「ボールポリブル」「リズムカルコース走」「スラックライン」「バンブーステップ」「長なわ」 柔らかさ（4種）…「ボール転がし」「ゴムひもくぐり」「輪くぐり」「ウォーキングストレッチ」 力（3種）…「プッシュアップ」「自分運び」「とび箱ずもう」 持続（2種）…「エアロビクス」「ペース走」										
			5 整理運動 6 振り返り 【次時に行う運動を選択する】 ※毎時間の振り返りで次時に取り組む動きを選択する。	5 整理運動 6 振り返り 【見通しを修正する】 ※第4時の振り返りで3時間分の簡単な見通しを立てる。	5 整理運動 6 振り返り 【見通しを修正する】 ※第7時の振り返りで3時間分の簡単な見通しを立てる。					
教師のかかわり	○1の場面 「何をすればいいのかな？」 →プロモーションムービーから動きを選べるようにする。 ○4の場面 「次に何をしようかな？」 →運動アプリからやってみたい動きを選べるようにする。 「どうしてできたのかな？」 →自分の動きを動画で撮影、視聴することを促す。		○4の場面 「何ができるかな？」 →学習資料（動きの4要素）を提示する。 「どうすればいいのかな？」 →学習カードや掲示物でポイントや工夫した動きを確認する。 「どんな工夫しようかな？」		○6の場面 「次はどうする？」 →第4時に立てた3時間分の計画を基に取り組み、学習カードやロードマップなどから計画通り進めることができたのか振り返り、必要に応じて計画の修正を促していく。					
			○4の場面 「何を高めようかな？」 →学習資料（ゴールデンエイジ）を提示する。 「自分の動きが高まっているのかな？」 →学習資料（高まりの実感）や友達との対話を促す。 ○2の場面 「自分に合った動きかな？」 →ロードマップを活用する。							

(7) 本時の学習 (6/10)

① 本時のねらい

自己の体力に応じて取り組む動きを選んだり、動きに工夫を加えたりすることができる。

② 本時の展開

学習活動	○教師のかかわり ◎配慮児童への支援	□評価
1 ロードマップで前時の学びを共有する	○児童の学習カードから「問い」「学習課題」「結果」を共有する。	□自己の体力に応じて取り組む動きを選んだり、動きに工夫を加えたりしている。 (観察・発言)
2 学習課題を確認する	○自分の学習課題を一人一人が確認できるように促す。	
3 準備運動・場の準備を行う	○安全に準備ができるように言葉をかける。	
4 体の動きを高める運動に取り組む		

【運動に取り組んでいるときの教師のかかわり例】



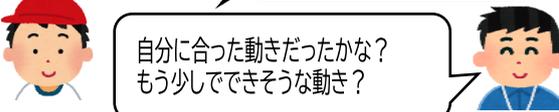
「やってみてどうだった??」

一人一人に合った働きかけを行うために子供の状況をつかむ

修正

「上手いきません。。。」

自分に合った動きだったかな? もう少しできそうな動き?



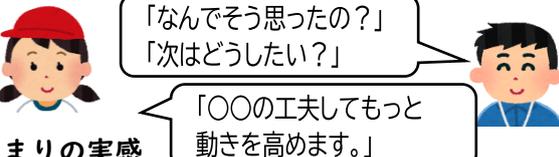
活用

「〇〇が高まりました。」

「なんでそう思ったの?」「次はどうしたい?」

「〇〇の工夫してもっと動きを高めます。」

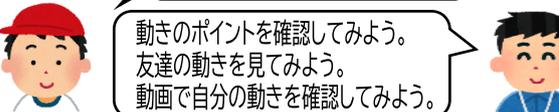
高まりの実感



◎配慮児童への支援

「???」「分かりません。」

動きのポイントを確認してみよう。友達の動きを見てみよう。動画で自分の動きを確認してみよう。



5 片付け・整理運動を行う	○一人一人が決められた役割を果たせるように言葉をかける。	□自己の体力に応じて取り組む動きを選んだり、動きに工夫を加えたりしている。 (発言・学習カード)
6 振り返りをする	○活動を通して感じたことを振り返るように促す。 ○次時の学習課題の修正を促す。	

【運動を振り返っているときの教師のかかわり例】

「やってみてどうだった??」

一人一人が自分の学習課題に対して運動を通して取り組み実感したことを振り返る。



「自分に合った学習課題だったかな??」

より自分に合った学習をするために、次時の学習課題の修正を促す。



(8) 学習資料

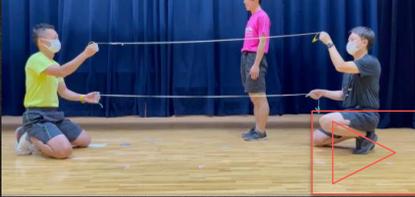
○体の動きを高めるアプリ

体の柔らかさを高めるための運動

取り組みたい運動をタップ！！

ゴムひもくぐり

ゴムひもくぐり



輪くぐり

輪くぐり



ボール転がし

ボール転がし



ウォーキングストレッチ

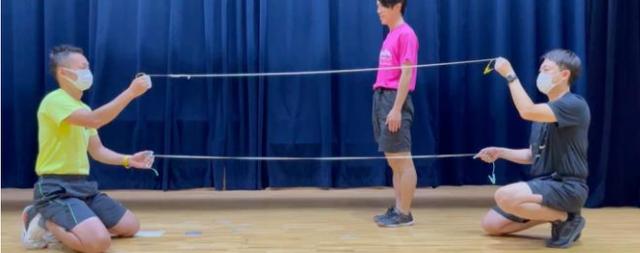
ウォーキングストレッチ



4 要素選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

ゴムひもくぐり



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

輪くぐり



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

ボール転がし



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

ウォーキングストレッチ



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

たくみな動きを高めるための運動

取り組みたい運動をタップ！！

ボールキャッチ

ボールキャッチ



ボールドリブル

ボールドリブル



リズムカルコース走

リズムカルコース走



スラックライン

スラックライン



バンブーステップ

バンブーステップ



長なわ

長なわ



4 要素選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

ボールキャッチ



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

ボールドリブル



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

リズムカルコース走



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

スラックライン



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

バンブーステップ



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

長なわ



4 要素選択に戻る

運動例選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会

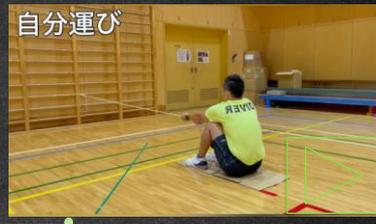
力強い動きを高めるための運動

取り組みたい運動をタップ！！

プッシュアップ



自分運び



とび箱ずもう



4 要素選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会



動きを持続する能力を高めるための運動

取り組みたい運動をタップ！！

エアロビクス



ペース走



4 要素選択に戻る

東京都小学校体育研究会 体の動きを高める運動領域部会



○学習カード

⑤ 月 日	⑥ 月 日	⑦ 月 日
今日の学習課題	今日の学習課題	今日の学習課題
取り組む運動 (柔) <input type="checkbox"/> ゴムひもくぐり <input type="checkbox"/> 輪くぐり <input type="checkbox"/> ボール転がし <input type="checkbox"/> ウォーキングストレッチ (巧) <input type="checkbox"/> パンプーステップ <input type="checkbox"/> 長なわ <input type="checkbox"/> リズムカルコース走 <input type="checkbox"/> 平均台・スラッグライン <input type="checkbox"/> ボールキャッチ <input type="checkbox"/> ボールドリブル (力) <input type="checkbox"/> ロプッシュアップ <input type="checkbox"/> 自分運び <input type="checkbox"/> とび箱ずもう (持) <input type="checkbox"/> エアロビクス <input type="checkbox"/> ベース走	取り組む運動 (柔) <input type="checkbox"/> ゴムひもくぐり <input type="checkbox"/> 輪くぐり <input type="checkbox"/> ボール転がし <input type="checkbox"/> ウォーキングストレッチ (巧) <input type="checkbox"/> パンプーステップ <input type="checkbox"/> 長なわ <input type="checkbox"/> リズムカルコース走 <input type="checkbox"/> 平均台・スラッグライン <input type="checkbox"/> ボールキャッチ <input type="checkbox"/> ボールドリブル (力) <input type="checkbox"/> ロプッシュアップ <input type="checkbox"/> 自分運び <input type="checkbox"/> とび箱ずもう (持) <input type="checkbox"/> エアロビクス <input type="checkbox"/> ベース走	取り組む運動 (柔) <input type="checkbox"/> ゴムひもくぐり <input type="checkbox"/> 輪くぐり <input type="checkbox"/> ボール転がし <input type="checkbox"/> ウォーキングストレッチ (巧) <input type="checkbox"/> パンプーステップ <input type="checkbox"/> 長なわ <input type="checkbox"/> リズムカルコース走 <input type="checkbox"/> 平均台・スラッグライン <input type="checkbox"/> ボールキャッチ <input type="checkbox"/> ボールドリブル (力) <input type="checkbox"/> ロプッシュアップ <input type="checkbox"/> 自分運び <input type="checkbox"/> とび箱ずもう (持) <input type="checkbox"/> エアロビクス <input type="checkbox"/> ベース走
振り返り 	振り返り 	振り返り

・目標シート

体の動きを高める運動 目標シート

【単元を通して取り組んだ運動に○をつけよう】



	8	9	10
柔			
巧			
力			
持			

	5	6	7
柔			
巧			
力			
持			

	2	3	4
柔			
巧			
力			
持			

	1
柔	
巧	
力	
持	

目標

なりたい自分に近づけた ⇒ (%)

【理由】

全体の学習を振り返って（最後の時間）

【現状 今の自分ができること できないこと】

振り返りの視点

- ・高める運動を学習する前と後で、体の動きを高めることができたか。
- ・体の動きを高めるためにどのようなことが大切だと思ったか。また、どのようなことを特に意識して運動に取り組んだか。
- ・自分の高めたい運動や動きを選んで学習することができたか。など

・問いマップ

問いマップ	自分が学習の中で浮かんできた問いを書きます。この問いは自分の学習のヒントになります。 問いをどんどん、広げてみましょう！つなげてみましょう！					
<table border="1"><tr><td>月</td><td>日</td></tr><tr><td colspan="2">体の動きを 高める</td></tr></table>			月	日	体の動きを 高める	
月	日					
体の動きを 高める						
						